譲渡された電車を探せ。
～地方で活躍する電車たち～

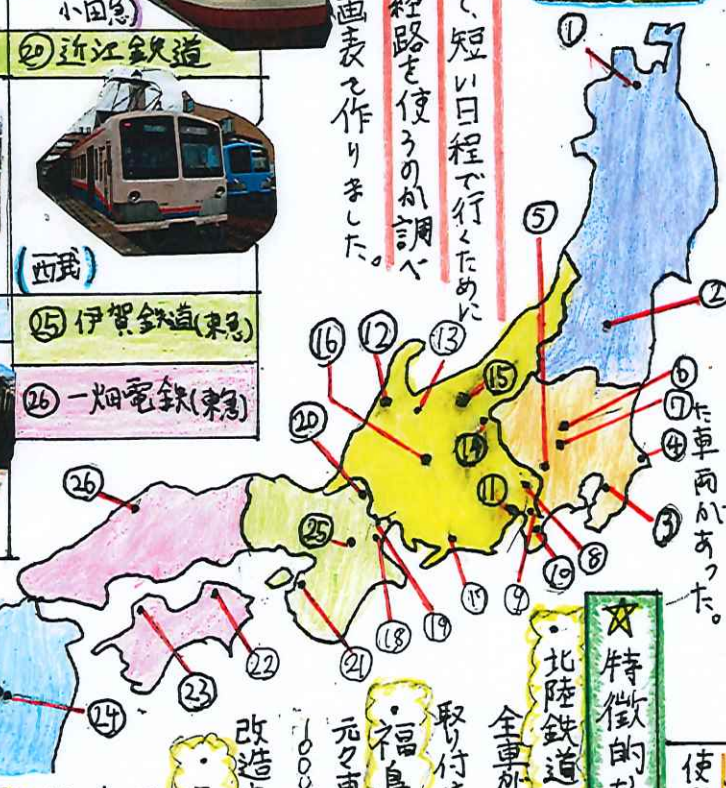
発行者
橋本尊琉

発行日
2024年8月31日

ぼくは、西武鉄道や小田急電鉄が好きです。最近、小田急の車両が西武に譲渡されました。またぼくは、小学3年生の時に新聞コンクールで「新101系の旅！」を作りました。その頃から古い電車や譲渡された電車に興味があり夏休みに訪れることにしました。まずは関東にいた電車がどこの県・鉄道会社に譲渡されたかを調べました。

そして、短い日程で行くためにどの経路を使うのか調べて計画表を作りました。

※（　）は元いた鉄道会社



譲渡された車両は…

- ウンマン化されているものがほとんどだった。
- 多くの車両が車体の塗装がかわっていた。
- ロングシートからボックスシートに変わっていた車両があった。
- サイクルトレインになっているものが多かった。(26会社中19社)
- 半自動ドアボタンがついている車両があった。
- 駅のホームで自習室として使われている車両があった。

☆特徴的な車両☆

- 北陸鉄道石川線7200形
  全車が中間車に新しく顔を取り付ける「先頭化改造」がされている。
- 福島交通1000系
  元々車急の車両。東急1000系とは思えないほど改造されている。
- 長野電鉄1000系
  元小田急ロマンスカーのHiSEが未だに現役で走っている。塗装は少し変わっているが中はそのまま。
- 地鉄16010形
  初代レッドアローで、2両編成のものはほとんど改造されずに特急・普通運用に就いている。3両編成のものは観光特急として改造されており、レッドアローとは思えない内装になっている。また特急さらには「普通運用」にも就いており「普通」では特急料金を払わずに乗車できるのでとてもすごい。そして、車体こそ昔のままだが運転台の一部機器は京急1600形、モーターなどは国鉄485系、ブレーキは京王地下鉄3000系と様々な車両の寄せ集めがミックスされて走っている。

～どうやって運ばれたか～

◎地鉄16010形
西武の工場で足回りと付属機器を外され、道路輸送用の特殊なタイヤをはいてトレーラーに牽かれて出発、高速道路を走行し、富山に到着。

◎小田急8000形 → 西武
8000形の別編成に牽引され、新松田駅でJR貨物の機関車と連結。新秋津駅まで運ばれ、西武線内を牽引する101系263Fに引きつかれ小手指車両基地へ到着。

◎養老鉄道7700系
トラックに乗せられ夜間陸送。

※多くの鉄道会社は線路を使って輸送していた。

なぜ譲渡されるのか

- 新車を導入するより中古車を買った方が半額で導入することができる(共通)
- 冷房化を進めるため。(地鉄長野)
- 従来の電車より省エネルギー化が図られる(福島交通)

調べてみて東急から譲渡される車両が多いことに気づくかな？

- 東急の車両はJRや他の私鉄よりも中小私鉄にとって丁度いい長さ(18メートル)
- 車両がステンレス製で軽量であり線路への負担が少なく省電力で運行できる。
- 譲渡された車両は沢山造られた車両であり、メンテナンスの際に部品の調達が容易だったから。
- 東急テクノシステムが譲渡先の要望に沿って改造している。

※東京メトロの車両も18メートルという長さであり、アルミ車体で軽量なため人気がある。

編集後記

譲渡されることで、車両をすてずに大事に使われていることや省エネルギーで走る電車を安く導入することで、環境に配慮していることを知りました。僕は小6なので新聞コンクールは今年で卒業です。元いた鉄道会社を卒業した電車の新たなかがやきを見て、僕も中学生になってもがんばろうと思いました。取材などで今までお世話になった鉄道会社の皆さん、ありがとうございました。